



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル

歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



1 近況報告

友達のティモール人が帰国する前にと地方オエクシの実家に招待してくれました。以前に一度伺っていて、今回は最後だなと思いながらの片道約12時間の長旅です。

また、8月に予定している竹の展示会の準備も始まりました。展示会の日程まで時間がないですが、もっとこうしたほうがいいという案が出てくるので、どこまでできるのかが難しいです。



地方オエクシの農園にて

2 配属先の活動

配属先では目の見えない障がい者を含むバイオリンの演奏者を集めてトレーニング行われました。各地方からそれぞれ1名ずつ集められ、首都ディリで3日間練習が行われ、最後に発表会が行われました。配属先には音楽の専門の同僚がいるので、練習にも熱が入ります。



演奏会の様子

3 地方オエクシへ

2回目のオエクシへ行ってきました。インドネシアに囲まれた飛び地であるオエクシは船で約12時間と行きにくい場所にあります。帰国の前に最後の訪問行けてよかったです。前回お世話になった友達の家では、今回も家族のように受け入れてくれ、一緒に食事したり、おしゃべりしたりととても良い思い出になりました。ティモールでは血縁関係がなくてもファミリア(家族)という言葉を使うことがあります。まさに、家族のように受け入れてくれました。



観光名所の新しい橋



みんなでご飯



お世話になった
家族と

4 草木染めの体験

伝統的な織物であるタイスの草木染めの体験に、今後の体験型の観光の可能性を探って、他の観光分野の協力隊員をと一緒に体験に行ってきました。今では、薬品を使って染色された糸を使って作られているタイスが増えてきていますが、昔ながらの自然のものを使って染色されたもので織られているタイスも健在です。体験してみると、紫玉ねぎやウコンなどから糸に色がついていくのが見ることができました。



木皮は煮て色を出します



揉みながら色をつけていきます



干して色を定着させます

4 2017年度1次隊の帰国



次は自分が帰国です

お世話になった先輩方が帰国しました。最終報告会、送別会、空港への見送りとは次は自分の番だなと思いつつ先輩方を見送りましたが、まだ実感がわきません。配属先の同僚からは、半年以上前からもう帰るのかと話しされてます。帰国までもあつという間に過ぎると思いますが、これから少しずつ実感が湧いてきそうです。《第22号終わり》